

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ

<さらなる飛躍に向けて>
創立 20 周年を経て、新規会員が続々加入！
2023 年度 通常総会を学士会館で開催

去る5月25日、認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ(東京都千代田区、理事長:助川英治、以下「NPO クラブ」)は、東京・千代田区の学士会館において第21期(2023年3月期)通常総会を開催しました。

新型コロナウイルスとの共存も3年目を迎えた2022年度は、基本的な感染予防対策(ワクチン接種、消毒、検温、マスク着用等)が定着したことで、社会経済活動の維持・活性化が図られた1年でした。

NPO クラブにおいても、昨年5月の総会で役員の変更を行い、「明るく活気あふれる理事会」を目指すフレッシュな体制で22年度がスタート。10月5日には、創立20周年記念事業を盛大に開催するなど大きな節目を迎えました。このように高揚感が溢れる中、会員の皆さまも感染拡大防止に努めながら意欲的に活動したことで、期首の計画を上回る活動実績を挙げるとともに、新入会員も続々と入会する充実した年度となりました。



▲東京・千代田区の学士会館

総会は出席正会員 89 名、委任状及び書面議決書提出正会員 85 名 (Web 出席者 40 名を含む) の計



174 名 (正会員の 71%) と定款で定める定定数に達して成立、13 時半から開始されました。議長は助川理事長が務め、第 21 期事業報告及び決算報告、第 22 期活動予算の説明・決議、定款の改訂等を審議。事業報告では助川理事長が「2021 ～ 2023 年度中期活動方針」の進捗状況について、下の 3 つの **基本方針 A ～ C** に沿って報告しました。要旨は下の通りです。

基本方針 A. 中小企業への経営支援活動 (収益活動)

- ① コロナ禍や大型案件のキャンセルなどで期首は厳しいスタートとなったが、行動規制の解除や新規案権の受託もあり、支援企業数 1103 社 (前年度 797 社)、支援回数 2544 回 (同 1896 回) と、いずれも前年度を上回った。支援内容は販路開拓支援を中心に、総合的な経営相談、現場改善支援、デジタル技術活用支援、新技術の事業化支援も増えつつある。



▲助川理事長

- ②収益面では、20周年記念事業費の負担もあって赤字予算でのスタートとなったが、経常収支は受託案件数の増加により、20周年記念事業のマイナス分のみに留まった。
- ③収益貢献した新規案件は「福島重点分野事業化促進事業マーケティング強化支援事業」、「徳島ものづくり開拓支援業務」、「つくば成長産業振興プロジェクト事業」「NEDO 案件」等が挙げられる。

- ④重点課題「多角的経営支援の強化／新技術の事業化支援」は浜松市（静岡県）のK社の支援で成果を挙げ、現在は淡路市（兵庫県）のS社を支援中。「同／事業戦略の策定支援」は「お気軽な経営相談」として定着し、多くの実績を挙げている。「同／ものづくり改善支援」では、鑄造技術で知られる山形市のW社にデジタル技術活用の管理システム導入を特別支援制度の枠で支援する予定。
- ⑤「特定支援会員への取組み強化」では販路開拓支援以外に、経営相談や事業戦略策定支援等の経営支援、Webセミナー開催などを実施。さらなる取組みを特定支援会員連携チームで鋭意検討中。
- ⑥「ヘルスケア分野」（分野別案件担当グループに発展し、組織活動として定着）、「環境分野」（環境事業支援研究会が発足）はそれぞれ進展があり、重点課題から外した。
- ⑦「地域密着活動の推進／地方在住会員の勧誘」では、小松市（石川県）、福岡市（福岡県）、松山市（愛媛県）在住の新会員がWeb活用で支援活動に参画。新しい組織の形として引き続き協力を願う。

基本方針 B. 社会貢献活動（非収益活動）

- ①「講演会、教育機関への講師派遣等を通じた人材育成支援活動の強化」は、次世代育成支援グループが学校教育機関向け、中小企業向け、地域コミュニティ向けチームを作り、具体的な取組みを検討中。
- ②「広報活動」では、昨年の創立20周年記念事業の諸準備・実行で大活躍した広報チームから新たに広報委員会を設置し、引き続き「メルマガ通信」等を通じ、NPOクラブの情報発信役を担っている。
- ③「有望中小企業の発掘と総合的支援」では、A. 中小企業支援活動「多角的経営支援活動の強化／ものづくり改善支援」と併せた形で課題達成に向けて取組みを開始した。
- ④「自然大災害復興支援活動」は、福島県産品を中心に販路開拓を支援。NPOクラブ支援企業の製品を災害発生時の支援物資にしたいとの提案があり、本年4月の理事会で承認された。
- ⑤「研究会・専門チーム活動」（5研究会・8タスクフォースに分かれて活動）も定着し、成果も出てきたので重点課題から外した。なお、4月には「子ども食堂支援チーム」が発足し、支援活動を行っている。
- ⑥「若者や女性が活躍できる環境確保の支援活動」は、女性起業家の支援を中心に取組んでおり、すでに2社の支援をしている。現在、新たな支援対象企業を選定中である。



- ⑦「中小企業のSDGs活用支援」では、NPOクラブ活動についてSDGsの観点での整理を終え、現在、特定支援企業の協力を得ながらSDGs活動の導入を図っている。
- ⑧ロシアのウクライナ侵攻による被災や避難民に対する人道支援として、会員からの募金とNPOとしての義援金を併せて、日本赤十字社と国連UNHCRに寄付した。

基本方針 C. 運営体制の整備・充実

- ①「運営組織の見直し・実行」は21年度中に役割区分、グループ編成、メンバー構成を見直し、それに伴う運営規程の改訂もすでに終了した。
- ②「事務局体制の強化」は、事務局長、事務局長補佐、4名の女性職員と、人的な体制補強が図られた。今後、さらに会員が活動しやすい事務局機能の拡充を検討していく。
- ③「正会員の勧誘」では、22年度は30名（内関西グループ7名）の加入があった一方、15名が退会した。23年度はすでに13名が入会しており、現在の正会員数は242名となる。
- ④「賛助会員・特定支援会員の増強」では、現在の特定支援会員数が55社となった。昨年6月には特定支援会員制度の内規を大幅に修正し、支援・サービス内容、支援計画策定・実施フォローも追記した。
- ⑤「会員オリエンテーション・サポート（エルダー制度）」については明文化を図り、組織活動としての定着化を図っている。「支援活動環境整備、対話の場の拡大（会員のさらなる活性化）」、「デジタル環境整備と会員対応力向上」、「データベース構築・利活用」については、それぞれの課題チームで検討中であり、近々成果報告の機会を持つ予定。
- ⑥昨年4月より展開する「寄付金募集活動推進」は極めて厳しい状況だが、ホームページに「寄附金のお願い」のバナーを設け、受け皿は出来たものと思われるので、会員の協力のもと、引き続き継続していく。
- ⑦「20周年記念事業準備・実行」では、「皆様への感謝」と「NPOクラブの更なる発展のために！」を合い言葉に、10月5日に無事かつ盛大に記念式典が終了した。
- ⑧NPOクラブと同じく、企業OBを主要メンバーに社会貢献活動などを行う（一社）ディレクトフォースと昨年4月に友好協定契約を締結。NPOクラブのさらなる発展のために、引き続き互いに協力していく所存。

※ 21年度の重点課題は上述の32課題でしたが、報告会での成果報告、進捗状況等を踏まえて見直しを行い、22年度は25課題に絞りました。23年度も引き続き課題の見直しや、その達成に向けて検討を行うとともに、次の中期活動方針の策定に取り組む予定です。



また今回の総会では、理事長の選考方法の変更をめぐる定款改訂も議案に上り、改訂（案）が承認されました。これまで理事長の選任は「理事の互選とする」と定款で定めていましたが、今後、会員の直接推薦（新たに設置する「役員候補者選考委員会」）で役員（理事長、理事、監事）の候補者を挙げて、理事会での承認を得た上で、総会で選任する流れになります。なお、本件は東京都庁に申請して認証を得たら、今秋から始まる来年度の役員選挙に適用する方向です。

このほかにも当日は、①個別案件報告（OSAKA ビジネスフェア 2022）、②賛助会員・特定支援会員3社（田中電気研究所、フレクストロニクス・インターナショナル、浜松ヒートテック）の挨拶、③新入会員（10名、内Web参加2名）の紹介がありました。

①のOSAKA ビジネスフェア 2022（主催：大阪信用保証協会、後援：近畿経済産業局、近畿財務局、大阪府）は昨年11月22日にマイドームおおさかで開催され、関西グループの小川純司会員（クボタOB）



▲個別案件報告（OSAKA ビジネスフェア 2022）



が概要や成果等を報告。招致企業数 47 社（目標：30 社）、出展企業面談数 155 件（同：約 10 社）と目標を大きく上回り、今年度も同フェアを受託する成果を上げました。



チームのメンバーなど、多くの方から多大な支援をいただいた。私の拙い経験を通じ、皆さんに元気と勇気をお伝えできた。

▲▶ 報告する小川会員。
昨年 4 月の入会后、早々に今回の大役を任された。

③の**新入会員**では、コロナ禍で一時入会が低迷（20 年 13 名、21 年 20 名）していたものの、22 年は 30 名とコロナ前に戻り、今年度も僅か 2 カ月で 12 名入会し、当日のリアル参加者 8 名の内、女性が 4 名と半数を占め華やかになり、初の外国人女性会員も誕生するトピックスもありました。次世代育成支援や食品、流通、ヘルスケア、IT・デジタル、SDGs などの分野で、女性の繊細でしなやかな感性にもとづく支援の重要性が増しており、今後の女性会員の活躍に期待が高まります。

総会は定刻通り 16 時に終了し、その後の懇親会ではラテントリオ『もつまどなみ』が会場を盛り上げました。20 年に結成され、今年で 3 周年を迎えるという同ユニット。中南米の香り漂う陽気で情熱的なラテンナンバーの数々が、さらなる飛躍を期す会員たちの意気込みを高めました。

女性新入会員

特定支援会員
挨拶

▲フレクストロニクス・インターナショナル
▲田中電気研究所
▲浜松ヒートテック

懇親会
&
アトラクション

2023 総会動画 ▶

◀ 総会アトラクション動画

<本件に関する問い合わせ先>
認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ
広報委員会：井料、宇川 TEL:03-5577-6785
<https://www.ka-npo.com/>



寄付金募集中！

NPO クラブでは
「寄付金募集活動」
を展開中です。
ぜひ、皆さまのお力添えを
お願い致します。